



厳しかった冬の寒さも和らぎ、ようやく春の訪れが感じられる3月になりました。この1年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年とは異なる生活を余儀なくされました。進路活動もその影響が大変心配されましたが、卒業生たちは自分のやるべき事をしっかりと見据え、無事に全員が内定や合格を勝ち取り、新しい生活へと向かっています。皆さんは自分の半年後、1年後の姿が見えていますか。

今回の進路だよりでは分野別に「やっておかなければならないこと」、「実践しなければならぬこと」をまとめておきました。また、裏面に令和2年度卒業生の進路先一覧を掲載しました。今年度は延べ数による掲載としました。理由は、どんなところに合格や内定しているのかを知ってもらうためのものです。特に公務員などでは複数の内定がありました。これらを参考にして、今後自分の進路についてよく考えるとともに、保護者の方ともこれからの自分の将来について話し合ってください。

### 民間企業への就職について

求人票は7月1日から学校での受付が始まり、夏休みには校内選考会があります。つまり、このわずかな期間に求人票やパンフレットを見たり、会社見学に出かけたりして、自分が受けたい企業を決めていかなければなりません。そして、就職試験は9月16日以降随時行われます。就職を希望する人はまず自分を生かせる仕事は何かを考えてみてください。まずは自分はどんな職種(どんなことをしたいのか、事務・製造・販売など)を希望するのか、といった基本的な事柄から決めていきましょう。進路指導室には求人票が、県内と県外で分野別にまとめてありますので、就職を希望する生徒は気軽に足を運んでみてください。保護者の方の来室も歓迎です。就職試験においては、普段の成績はもちろんですが、面接も重要です。面接では想定外の質問にも臨機応変に答えられるような人材を企業は求めています。さらに、「服装」や「敬語」、入退室の「マナー」など日頃から意識して生活しましょう。

### 公務員について

公務員試験の出願は6月、試験は9月から始まります。したがって、試験のための勉強をする時間は、2年生で言えば、あとわずか半年ということになります。2年生はまず、①受験する種別を決定してください。そして、②併願する種別を決定してください(いくつでも)。これらはすべて、1日でも早くそれぞれの種別にあった試験勉強を開始するために必要なことであり、万全の準備をして教養試験に臨んでください。教養試験の対策抜きに公務員合格はあり得ません。そして、③効率よく教養試験の勉強をしてください。教養試験の内容は広範囲に及びますが、ボーダーラインは正答率60~70%といわれています。国家公務員一般職や県警察官など、それぞれの傾向を調べて頻出分野を知り、6割~7割以上得点するにはどの分野、どの科目に集中して勉強すればよいかを分析し、効率よく学習してください。この3点を念頭において、1日でも早く勉強を開始しましょう。

### 進学について

本校で最も希望者が多い推薦入試の校内選考会は、9月に行われます。特に指定校推薦で受験を希望している場合、「本校を代表して受験」をするといった責任を伴うことを自覚してください。「楽に合格できそうだから」指定校推薦で進学するといった考えは間違いです。指定校推薦以外にも、公募推薦やAO入試、一般入試などの入試形態がありますので、どの入試形態であっても自分が行きたい学校にチャレンジしてください。また、合格を勝ち取るために志望校について早期に情報収集をしてください。具体的にはインターネットで検索をしたり、資料請求をしたり、オープンキャンパスに参加するなど方法があります。なお、4月に配付される「進路の手引き」には様々な入試の方法やその手続き、学校の情報(指定校推薦枠がある学校名など)が詳しく記載されているので、よく読んで活用してください。

進学の中でも、専門学校を希望する場合、就職同様「どんなことがしたいか」ということを確定して進学しなければなりません。それを明確にし、技術や技能を習得し、それを使って社会に貢献していくからです。安易な理由での専門学校進学は意味がありません。必ず、どんな技術や技能を習得し、それをどこで生かすのかを明確にしてください。

また、今年度から大学入試の方法が大きく変わりました。推薦入試は「学校推薦型選抜」となり、AO入試は「総合型選抜」と名称が変わりました。様々な高校での活動のプロセスや実績などを、メモする習慣が大切になってきます。「メモ」とるということは、進路に関係なく必要なことであると考えます。